

2016年3月期 中間決算説明資料

伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部：8133)

2015年11月17日

I. 2016年3月期上期 全社決算概要	P. 2
II. セグメント情報	P.11
III. 下期以降の取組み	P.18
IV.電力小売全面自由化に向けた取組み	P.24
V. 中期経営計画（抜粋）	P.29
VI.参考資料	P.36

資料上の数字については、特に断りのない限りすべてIFRSベースで記載しています。
同様に、営業活動に係る利益、当社株主に帰属する四半期純利益については、それぞれ
営業利益、四半期純利益と表記しています。

I. 2016年3月期上期 全社決算概要

		2014年3月	2015年3月	2015年9月	前期差
DUBAI原油	\$/BBL (月末時点)	94.6	53.4	43.5	△ 9.9
通関CIF原油	円/KL (月中平均)	70,020	41,252	39,010	△ 2,242
CP (プロパン)	\$/トン (月中実績)	745	500	315	△ 185
電力スポット価格 (JEPX)	円/KWh (月中平均)	13.92	12.48	8.23	△ 4.25
為替 (TTS)	円/\$ (月末時点)	110.45	121.17	120.96	△ 0.21
エネクス株価	円/株 (月末時点)	707	991	907	△ 84

2016年3期上期業績



油価下落により減収なるも、収益面は好調

(単位：億円)

	15.3期 上期	16.3期 上期			16.3期通期 期初予想	通期 達成率
			増減額	増減率		
売上高	6,966	5,641	△1,325	△19.0%	13,500	41.8%
売上総利益	390	430	+40	+10.2%	-	-
営業利益	60	74	+14	+23.6%	168	44.0%
税引前四半期利益	57	66	+9	+15.0%	152	43.2%
四半期純利益	28	32	+4	+14.3%	82	39.1%

*売上高は日本基準

Copyright©2015ITOCHU ENEX CO.,LTD.All rights reserved.

売上総利益・営業利益は過去最高益！ 四半期純利益は実質過去最高益！

■ 売上総利益 430億円 前期比+40億円 **過去最高益**

日産大阪買収の影響（+28億）、エネルギートレード事業増益（+7億）、電力・ユーティリティ事業増益（+5億）。

■ 営業利益 74億円 前期比+14億円 **過去最高益**

カーライフ事業における経費減少等（+7億）、エネルギートレード事業増益（+7億）。

■ 四半期純利益 32億円 前期比+4億円 **実質過去最高益**

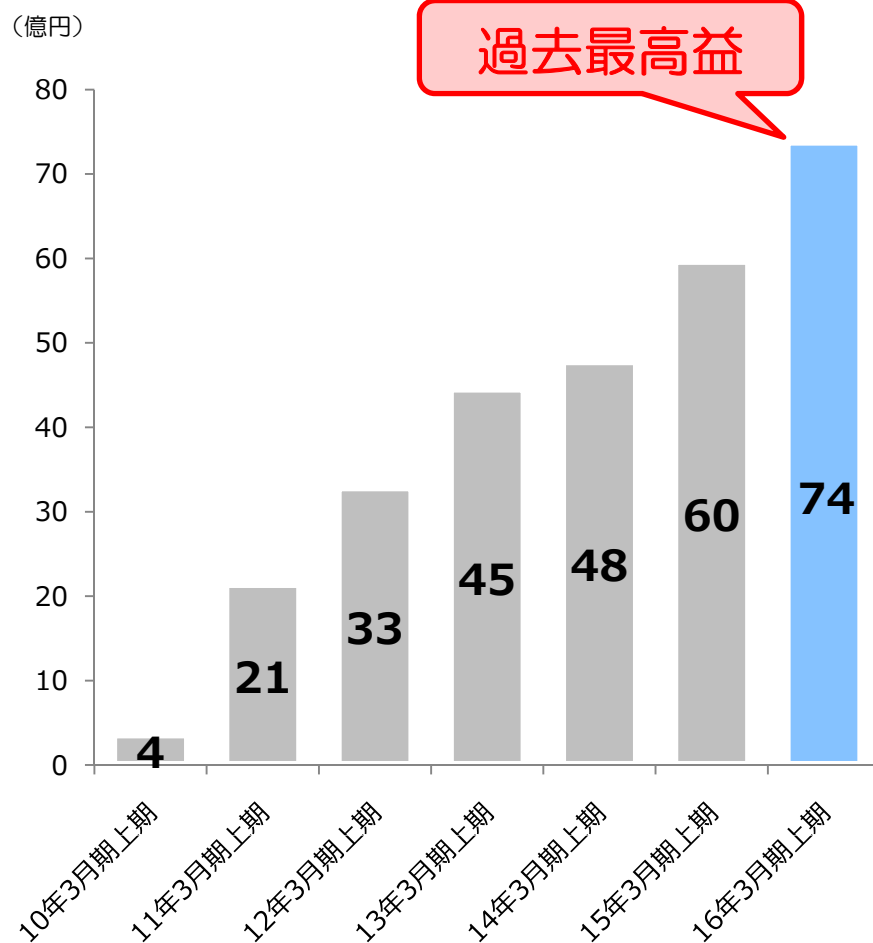
ホームライフ事業在庫影響による持分法損益悪化（△5億）。カーライフ事業増益（+5億）、エネルギートレード事業増益（+5億）。

14年3月期第2四半期（過去最高益32.20億）は関連会社売却益（+14億）を含む為、実質過去最高益。

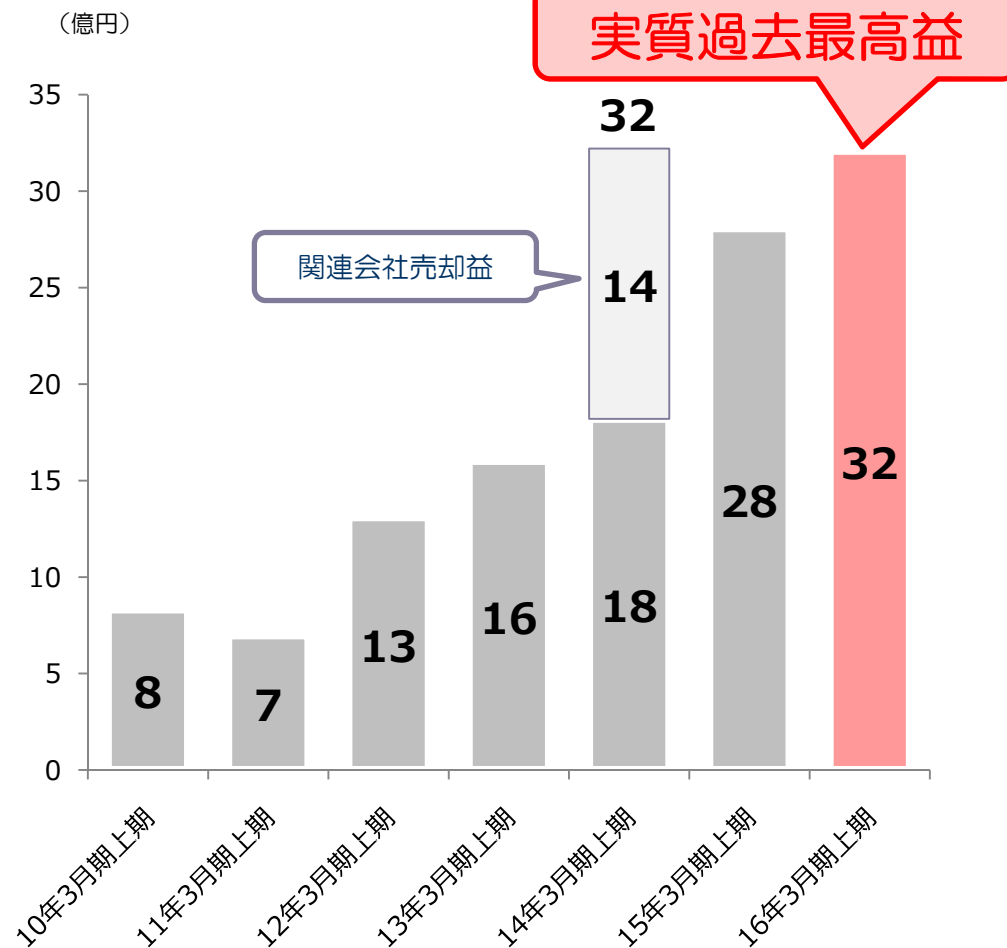
着実に稼ぐ力は増大

営業利益、四半期純利益ともに順調に推移

上期営業利益推移



上期純利益推移



連結貸借対照表

(単位：億円)

	15.3期	16.3期 上期	増減額	
流動資産	1,577	1,451	△ 126	
非流動資産	1,714	1,685	△28	
資産合計	3,291	3,137	△154	<ul style="list-style-type: none"> • 営業債権の減少 (△129) • 棚卸債権の減少 (△32)
流動負債	1,494	1,255	△240	<ul style="list-style-type: none"> • 営業債務の減少 (△178) • 社債の償還 (△50)
非流動負債	667	729	+62	
資本合計	1,130	1,153	+23	<ul style="list-style-type: none"> • 当期利益 (+32) • 配当金支払い (△12)

キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	15.3期 上期	16.3期 上期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	182	55	△128
投資活動によるキャッシュフロー	▲88	▲96	△9
財務活動によるキャッシュフロー	▲76	7	+84
現金及び現金同等物の増減額	18	▲34	+53
現金及び現金同等物の期末残高	161	128	△33

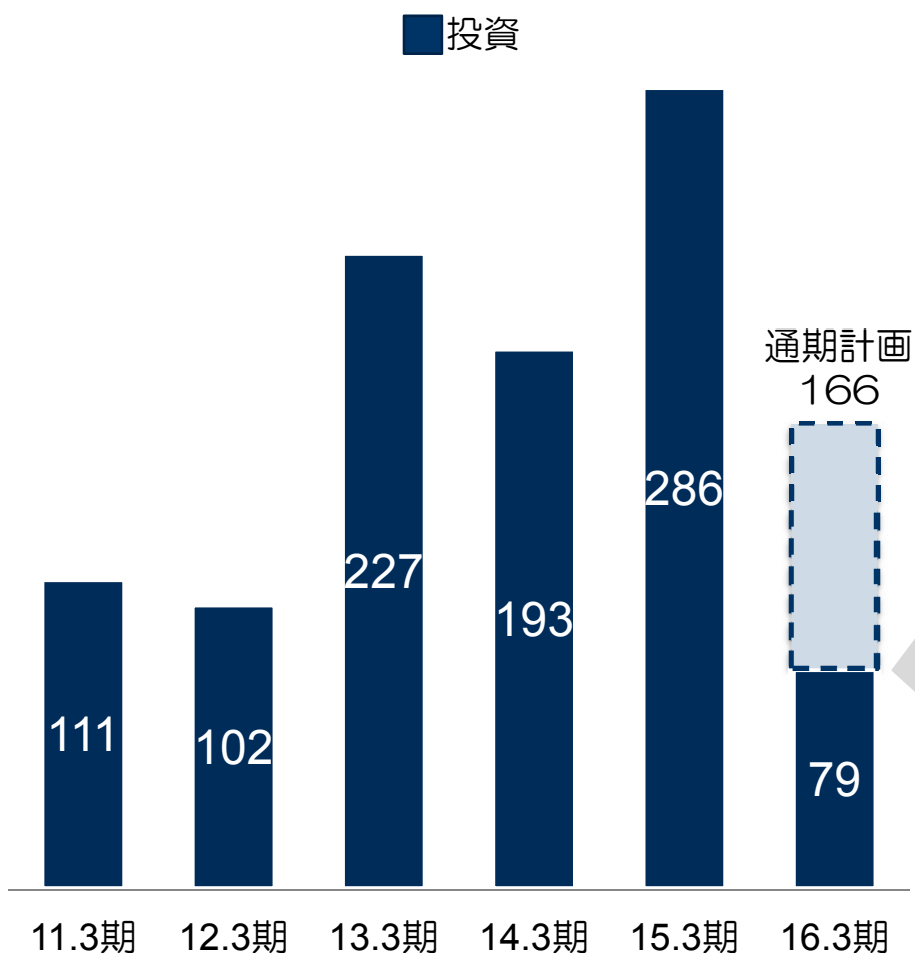
- 日産大阪売買所要資金前年比 (△64)
- 前期：エネルギートレード
棚卸資産売却 (△59)

- 今期：熊本瓦斯取得 (▲11)
- 前期：日産大阪取得 (▲22)

- 今期：有利子負債 (+21)
- 前期：有利子負債 (△61)

計画に向け案件積み上げ中

投資額（億円）



主な投資実績

- ホームライフ事業本部
 - －資本提携・営業権買収等 : 28億円
- カーライフ事業本部
 - －設備改修等 : 12億円
- 電力・ユーティリティ事業本部
 - －胎内WF等 : 36億円

前期消費増税の反動、油価下落影響を受け主燃料は増販

主燃料合計		2015年3月期 上期	2016年3月期 上期	増減率
ガソリン	(千kl)	1,827	1,979	+8.3%
灯油	(千kl)	324	335	+3.2%
軽油	(千kl)	1,575	1,658	+5.3%
重油	(千kl)	1,855	1,508	△18.7%
燃料合計	(千kl)	5,582	5,480	△1.8%

主燃料以外		2015年3月期 上期	2016年3月期 上期	増減率
アスファルト	(千t)	174	148	△14.5%
LPガス	(千t)	276	269	△2.3%
電気	(GWh)	533	712	+33.4%
蒸気	(千t)	393	366	△6.9%
熱量	(TJ)	728	736	+1.1%

Ⅱ. セグメント情報

セグメント別業績



(単位：億円)

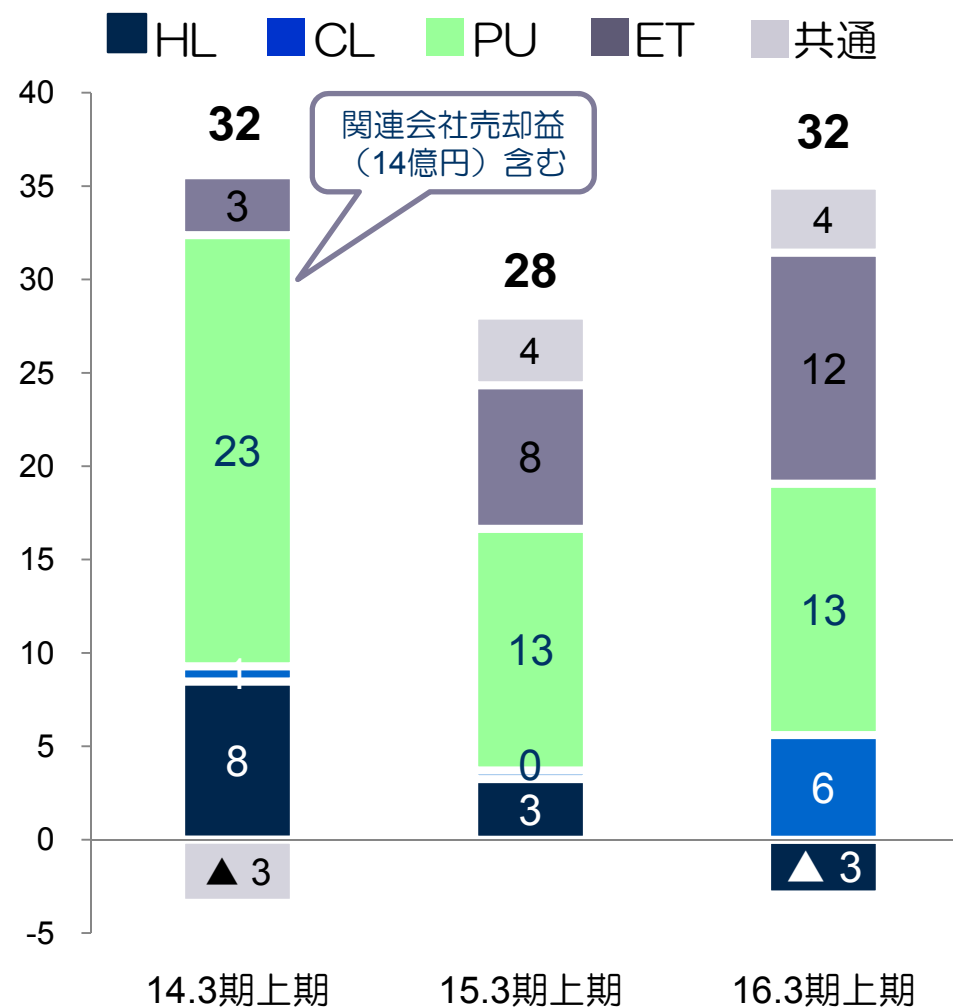
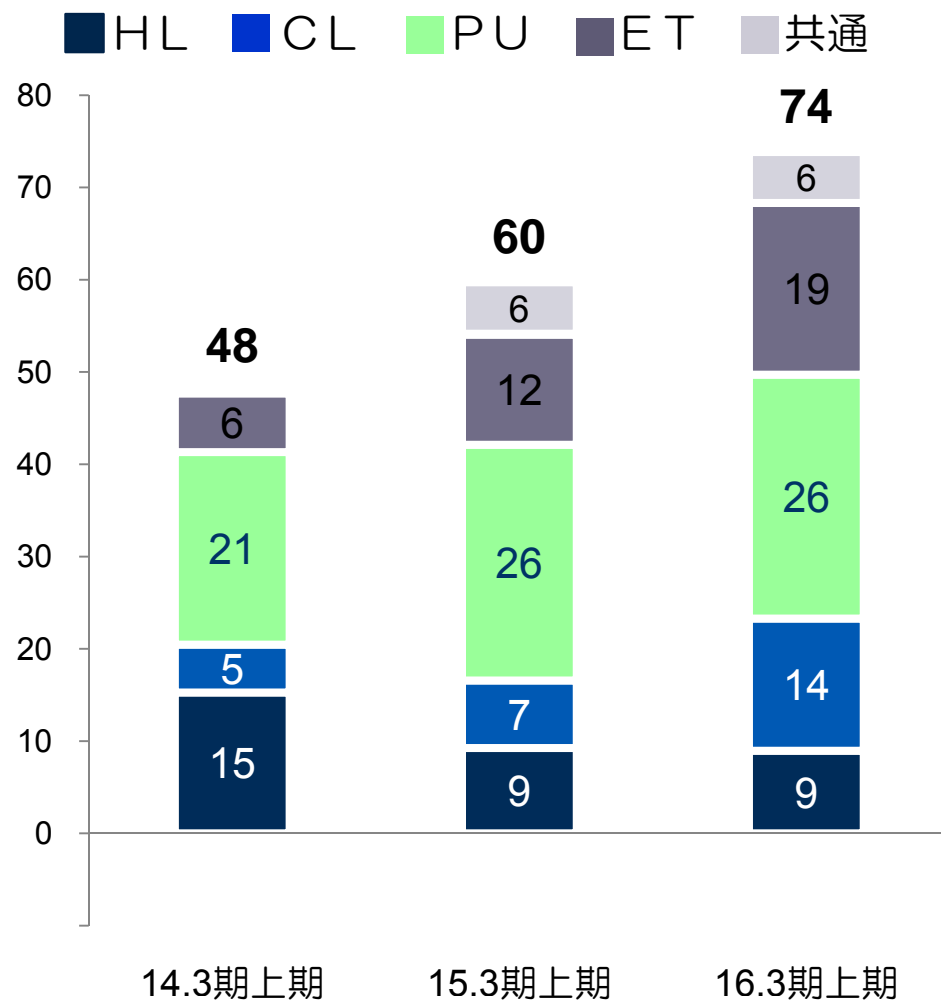
	15.3期 上期実績	16.3期 上期実績	増減額	増減率	16.3期通期		
					期初 予想	達成率	
売上高	6,966	5,641	△1,325	△19.0%	13,500	41.8%	
営業利益	60	74	+14	+23.6%	168	44.0%	
四半期純利益	28	32	+4	+14.3%	82	39.1%	
ホームライフ 事業本部	売上高	515	442	△73	△14.1%	1,086	40.7%
	営業利益	9	9	△0	△3.2%	52	17.2%
	四半期純利益	3	▲3	△6	-	-	-
カーライフ 事業本部	売上高	3,191	2,745	△447	△14.0%	6,490	42.2%
	営業利益	7	14	+7	+95.9%	49	29.3%
	四半期純利益	0	6	+5	+1,107.3%	-	-
電力・ ユーティリティ 事業本部	売上高	193	212	+19	+9.7%	560	37.8%
	営業利益	26	26	+1	+3.4%	32	82.6%
	四半期純利益	13	13	+1	+4.0%	-	-
エネルギー トレード 事業本部	売上高	3,067	2,243	△824	△26.9%	5,357	41.9%
	営業利益	12	19	+7	+56.1%	36	51.7%
	四半期純利益	8	12	+5	+60.9%	-	-

*売上高は日本基準

事業本部別上期業績推移

営業利益

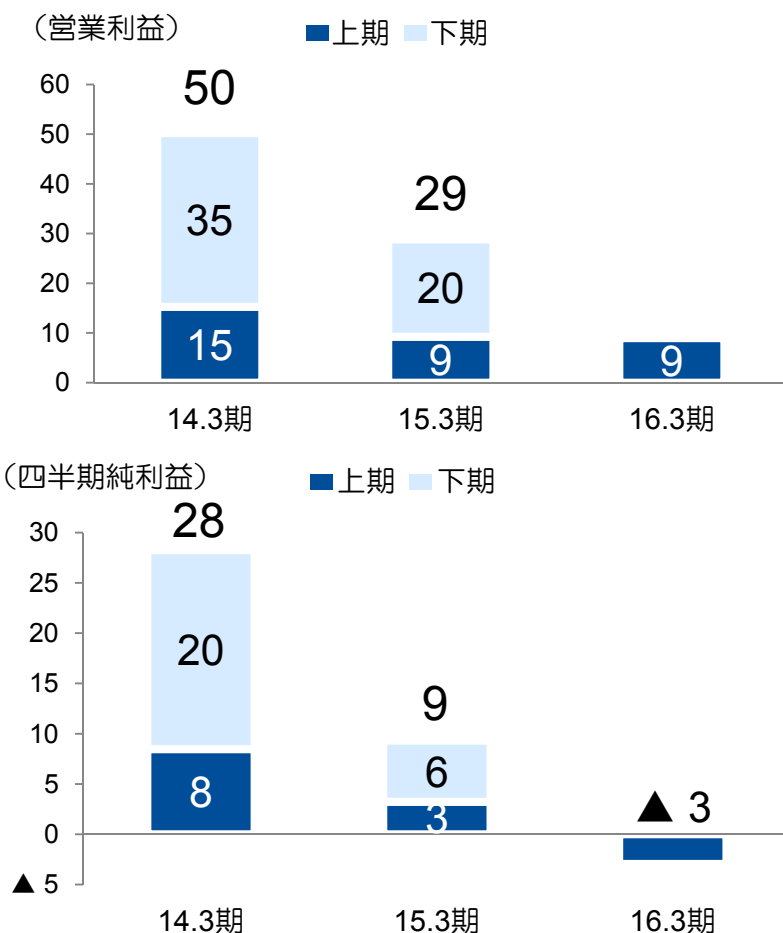
上期純利益



HL：ホームライフ事業 CL：カーライフ事業 PU：電力・ユーティリティ事業 ET：エネルギートレード事業

CP価格下落による在庫評価への影響により苦戦 機器販売は好調

上期業績推移 (億円)



主な要因・取組み

■業績変動要因

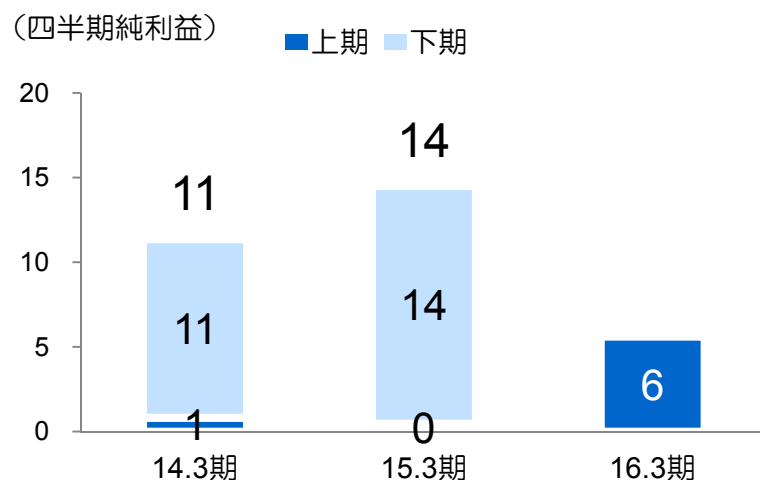
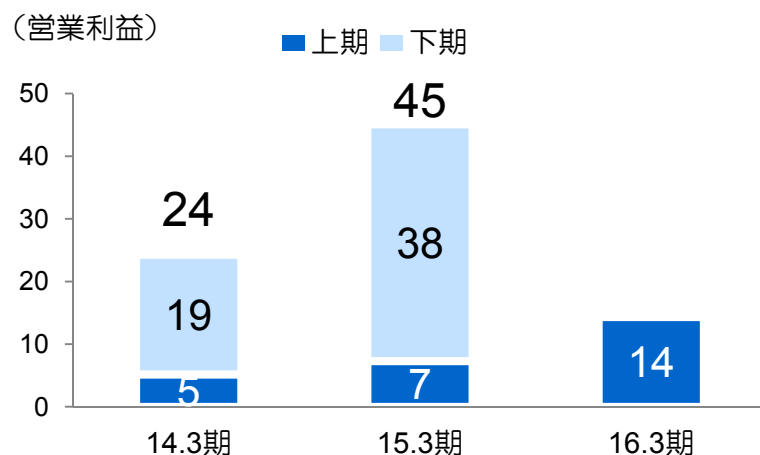
- LPガス販売数量は前期並で推移。
- 機器販売好調 (売買益前期比114%)
- LPガス輸入価格低下による在庫評価影響あり持分法損益悪化。

■上期中の取組み

- 「Smart Lifeキャンペーン」、「全国機器販売ドリームマッチキャンペーン」を実施。全エリアにて前年実績比大幅UP。
- 電力小売全面自由化に向け、グループ全社事業推進体制構築。
- ガス容器検査事業を集約 (Jシリンダーサービス)。ガス周辺ビジネスで収益化。

前期消費増税の反動、小売価格下落による販売量増加 不採算拠点廃止により増益

上期業績推移 (億円)



主な要因・取組み

■ 業績変動要因

- 小売価格下落影響等により数量増 (前期比102%)
- 不採算拠点廃止・コスト削減等 (+5億円)
- CS数は2,023カ所 (前期末比15カ所の減少)

■ 上期中の取組み

- 車関連事業6事業の強化 (洗車、レンタカー、钣金、車検、車販、車買取)
- 日産大阪上期実績

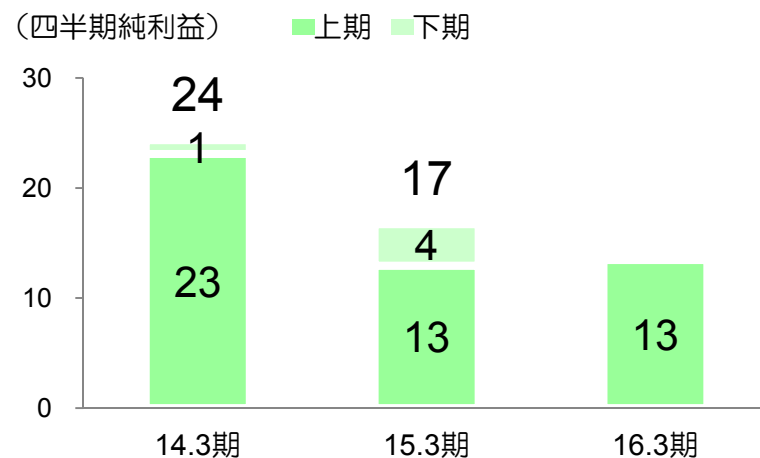
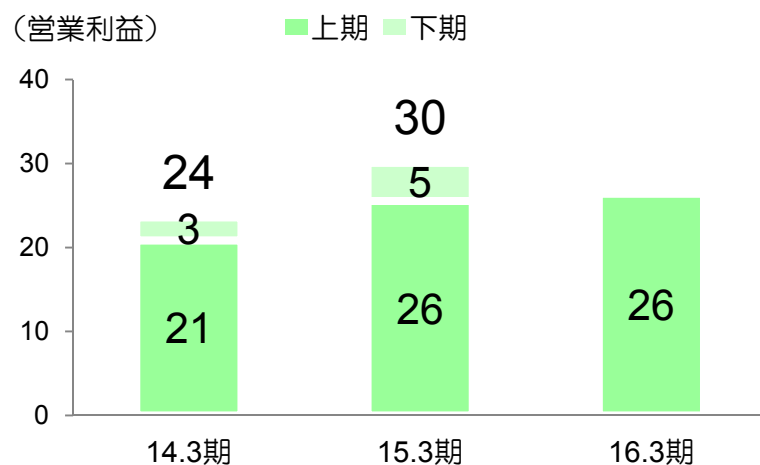
売上高452億円 (昨年上期335億円)

営業利益5億円 (昨年上期5億円)

当期純利益2億円 (取込利益) (昨年上期2億円)

電源拡充および電力小売販売は順調に推移 熱供給における原材料費低減も併せ増収増益

上期業績推移 (億円)



主な要因・取組み

■ 業績変動要因

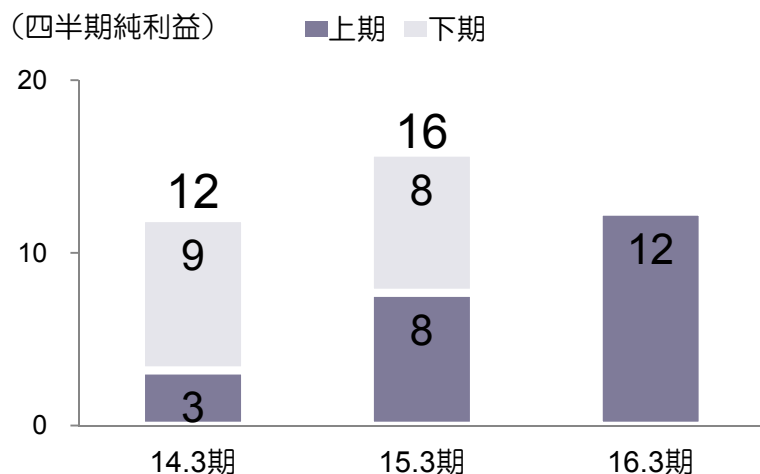
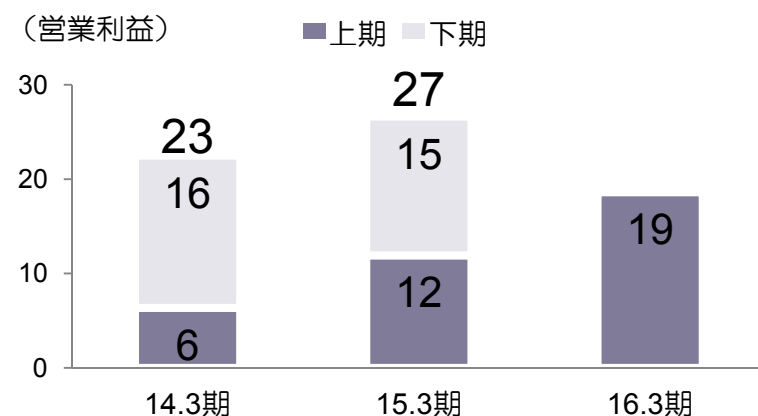
- 電力小売販売量前期比倍増により収益貢献。
(338GWh←170GWh)
- 自社電源の増強 (新潟県胎内市の風力発電、山口県防府市の石炭火力)。
- 前期一過性の保険収入有り (当期純利益175百万円)。

■ 上期中の取組み

- 王子・伊藤忠エネクス電力販売(株)営業開始 (4月)
- 2016年4月の電力全面自由化に向けた体制基盤強化

事業本部全体としては好調につき増益 アスファルトは原油価格下落に伴う在庫影響あり苦戦

上期業績推移 (億円)



主な要因・取組み

■ 業績変動要因

- 原油価格下落によるアスファルトの在庫影響あり。
- 産業用燃料販売事業、フリートカード事業、船舶燃料事業等、他全ての事業が順調に推移、本部全体の収益は前期を上回る。

■ 上期中の取組み

- 基地・ローリー・配給船等の自主流通機能の最適化
- スロップ・再生油事業、フライアッシュ事業等の新規事業スタート。
- 事業化案件の推進、新たなビジネススキームの検討。

Ⅲ. 下期以降の取組み

コア事業の深耕と電力小売完全自由化に向けた組織体制の構築

■コア事業

- LPガス拡販に向けた新規取引先開拓、M&Aの取り組み（直売・卸）。
- 「Smart Lifeキャンペーン」を通じた燃焼機器、住宅関連商材の拡販促進。
- 太陽光発電、蓄電池、LPガスによる最適なエネルギーミックスの提案継続。

■電力小売事業

- 家庭向け小売電力の販売開始に向け、電力・ユーティリティ事業本部との連携のもと営業体制の強化と事業基盤の構築。

■海外新規事業

- インドネシアにおける日系企業向け工業ガス充填販売。（参考資料参照）

地域のカーライフにコミットする

絶対顧客数の拡大& “足腰強化” と “明日へのタネ蒔き”

■コスト削減

- 単体及びグループ会社コスト削減
- 与信管理機能の強化

■マーケティング

- 事業&サービスブランド『カーライフスタジアム』確立
- Rポイント&カードの展開
- 新POS導入

■付加価値向上

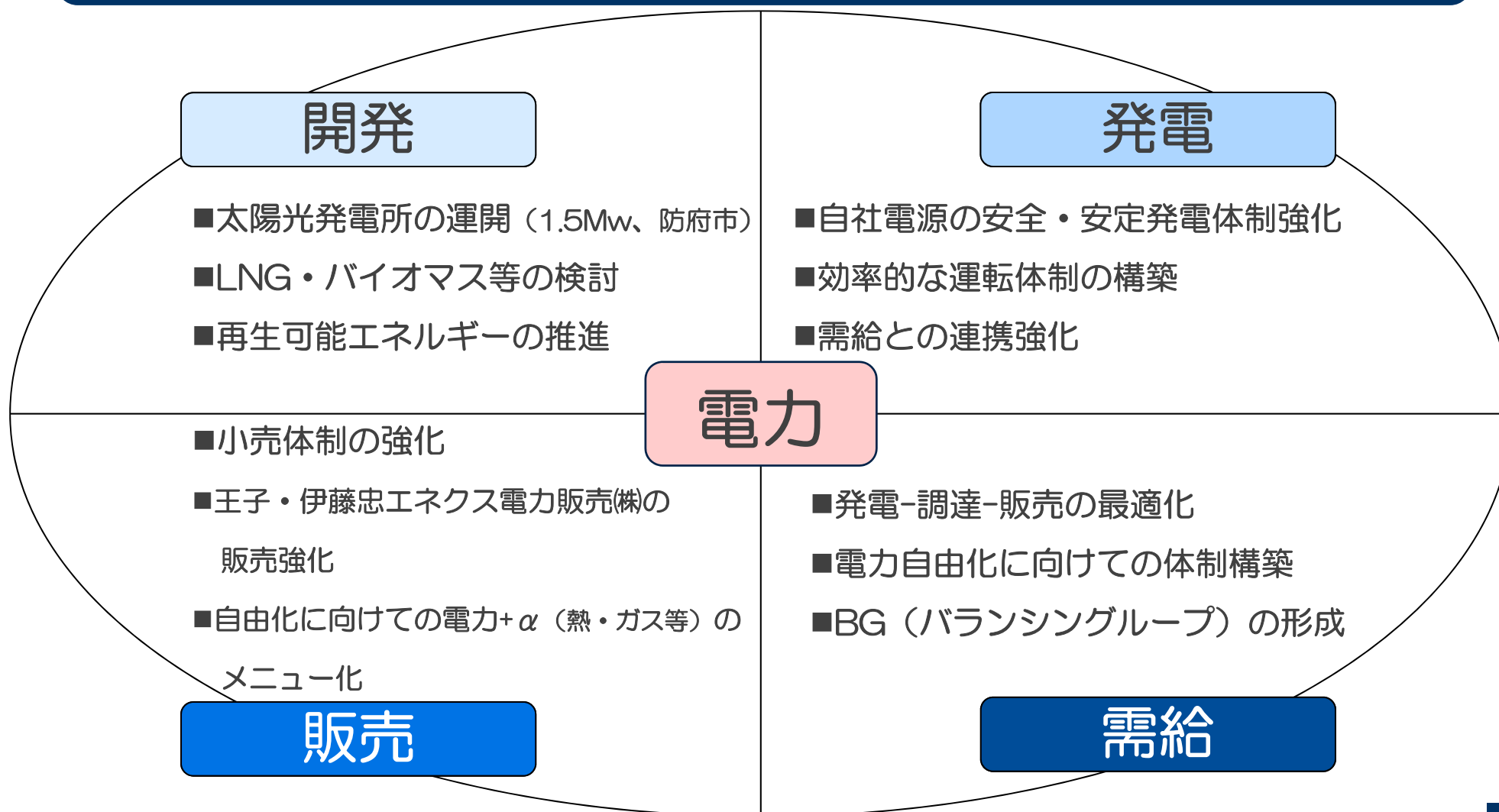
- エネクスオート車関連6事業、自動車ディーラー事業の促進
- 卸小売一体の経営
- 新ACT※作り



(商標出願中)

※ACT：ENEX ACTプログラム。当社と販売店が一体となりCSの店舗力・競合他社の分析や集合研修で「勝ち残るためのCSづくり」を実現し、販売店を協力をサポートするプログラム。

電力全面自由化に向けた体制構築をギアアップで取組む



バランスのとれた事業ポートフォリオの構築

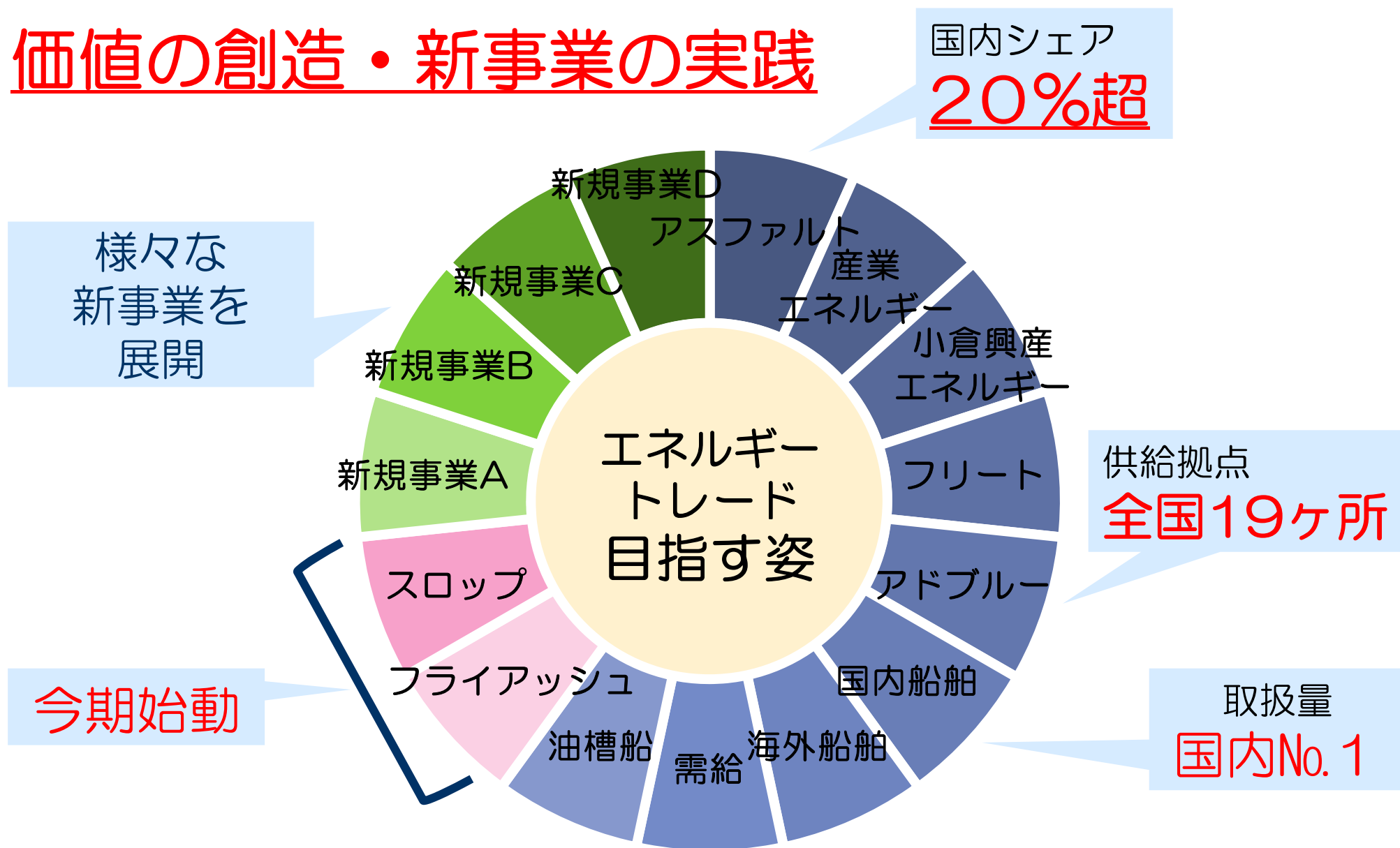
■事業基盤の強化

- 流通機能強化と資産最適化
(アドブルー供給拠点・保有タンク・船舶燃料配給船・アスファルト船・石油製品船
• 陸上ローリーの有効活用)
- お客様のニーズの変化に合わせたエネルギーを中心とするトータルサポート
(電力・LNG・石炭・蒸気の供給などエネルギーベストミックス提案や、車輛リース
と法人燃料カードの連携提案など)
- リスクマネジメント体制の強化

■新たな事業展開の推進

- グループ会社と一体になった新規事業への取組み
(スロップ・再生油事業、フライアッシュ事業、燃料の小口配送事業の展開)
- 海外プロジェクト事業の推進 (他事業本部との連携強化)
- その他さらなる案件の検討と推進

価値の創造・新事業の実践

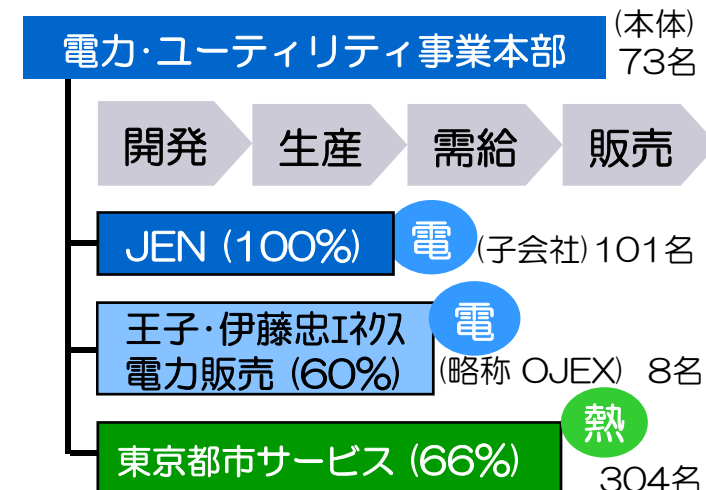


IV. 電力小売全面自由化に向けた取組み

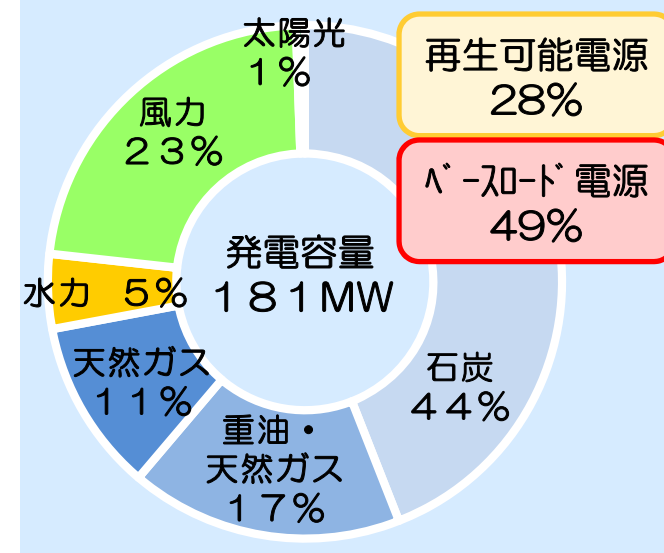
1. 伊藤忠エネクス電カグループの概要 *2015/4 現在



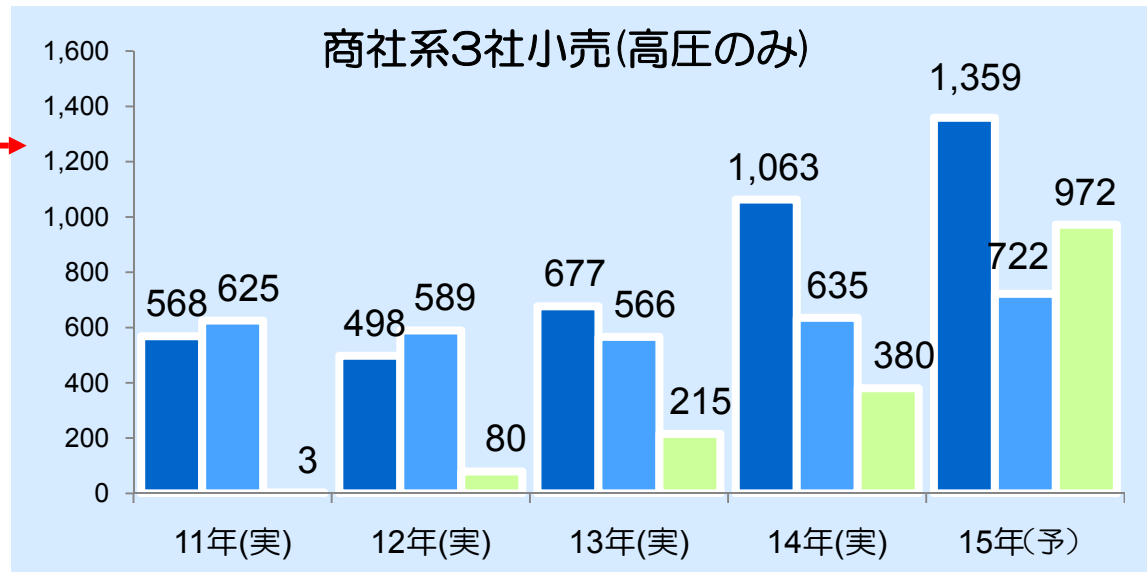
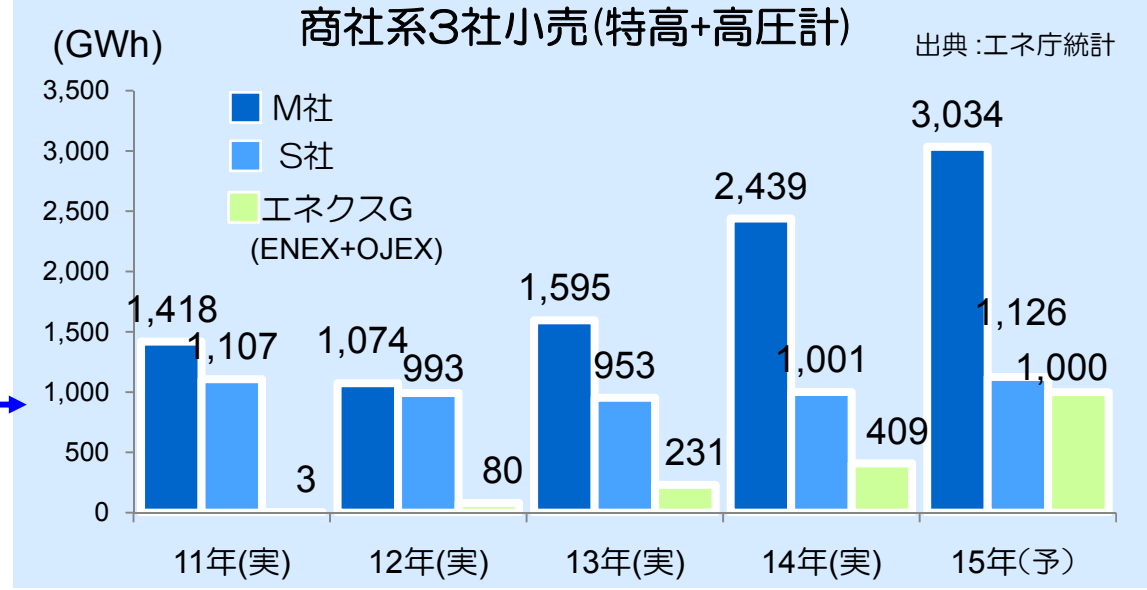
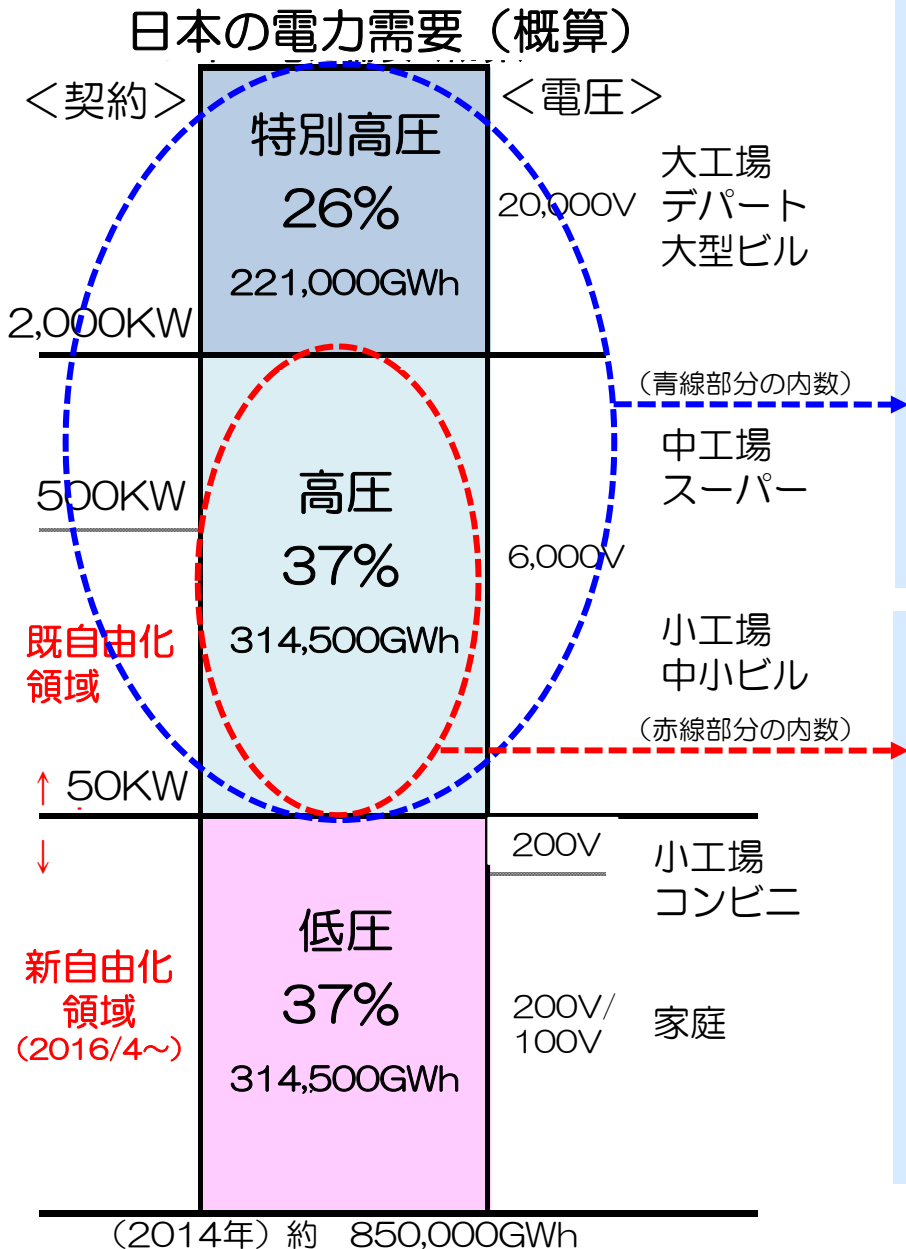
【組織】 グループ合計 486名



【燃種別容量】 (2015年4月現在)



2. 電力自由化と商社系新電力販売量

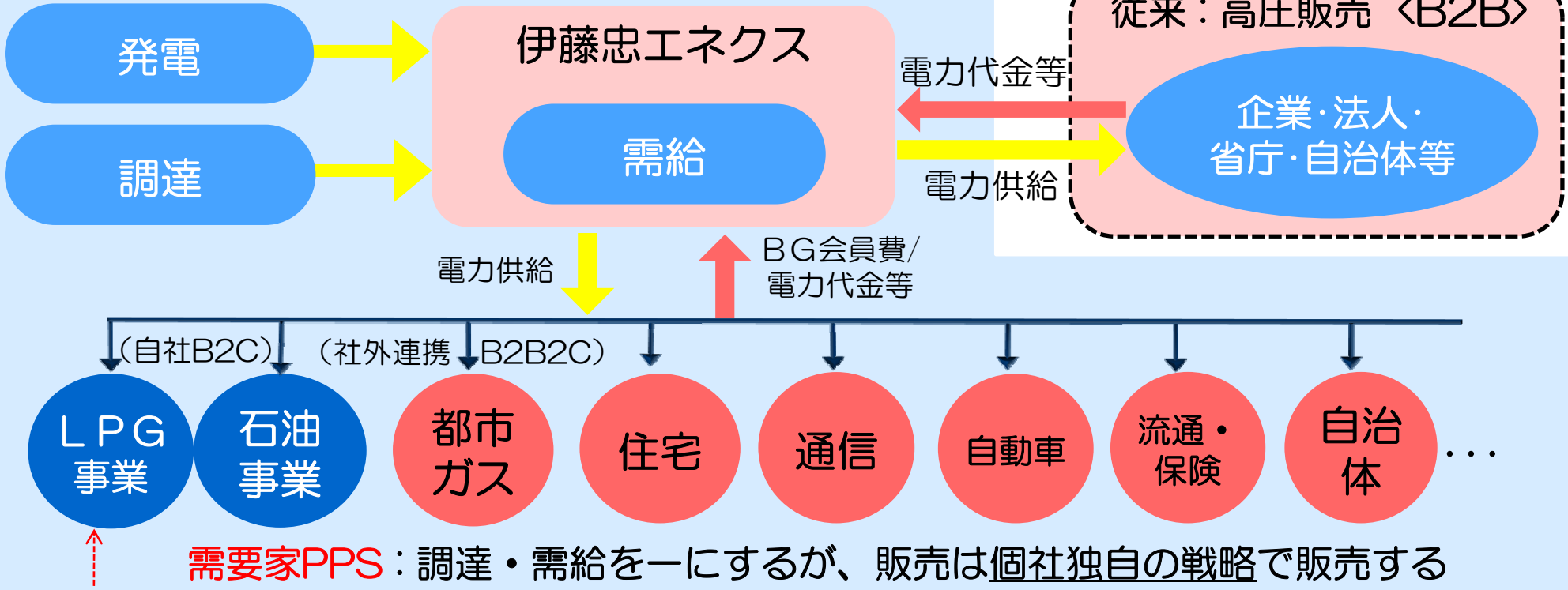
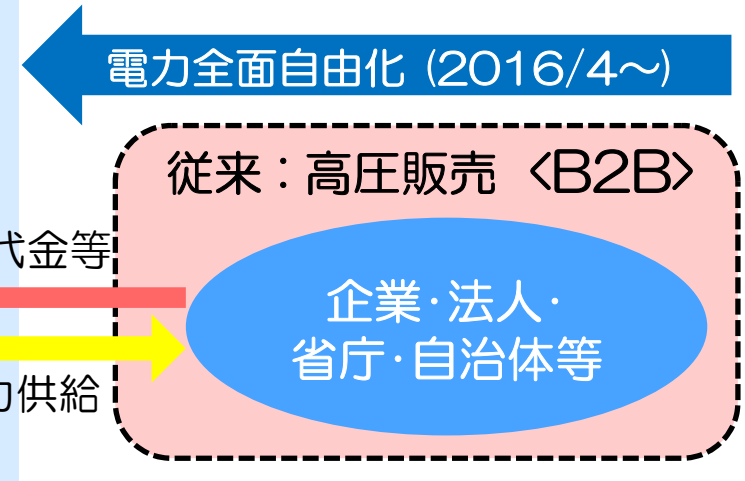


*M社/S社の15年(Est)は4-7月実績の単純3倍。エネクスGは社内見通し。

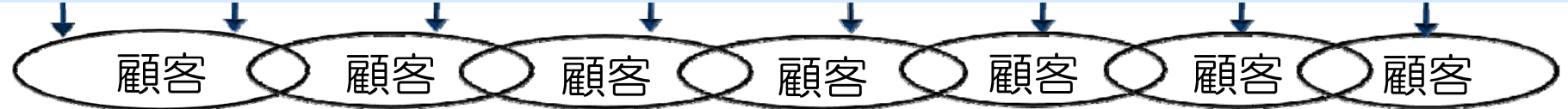
3. 低圧小売とBG（バルンシング・グループ）戦略



低圧小売 BG（バルンシンググループ）〈B2C&B2B2C〉
異業種が需給を一本化し効率・規模のメリットを目指す

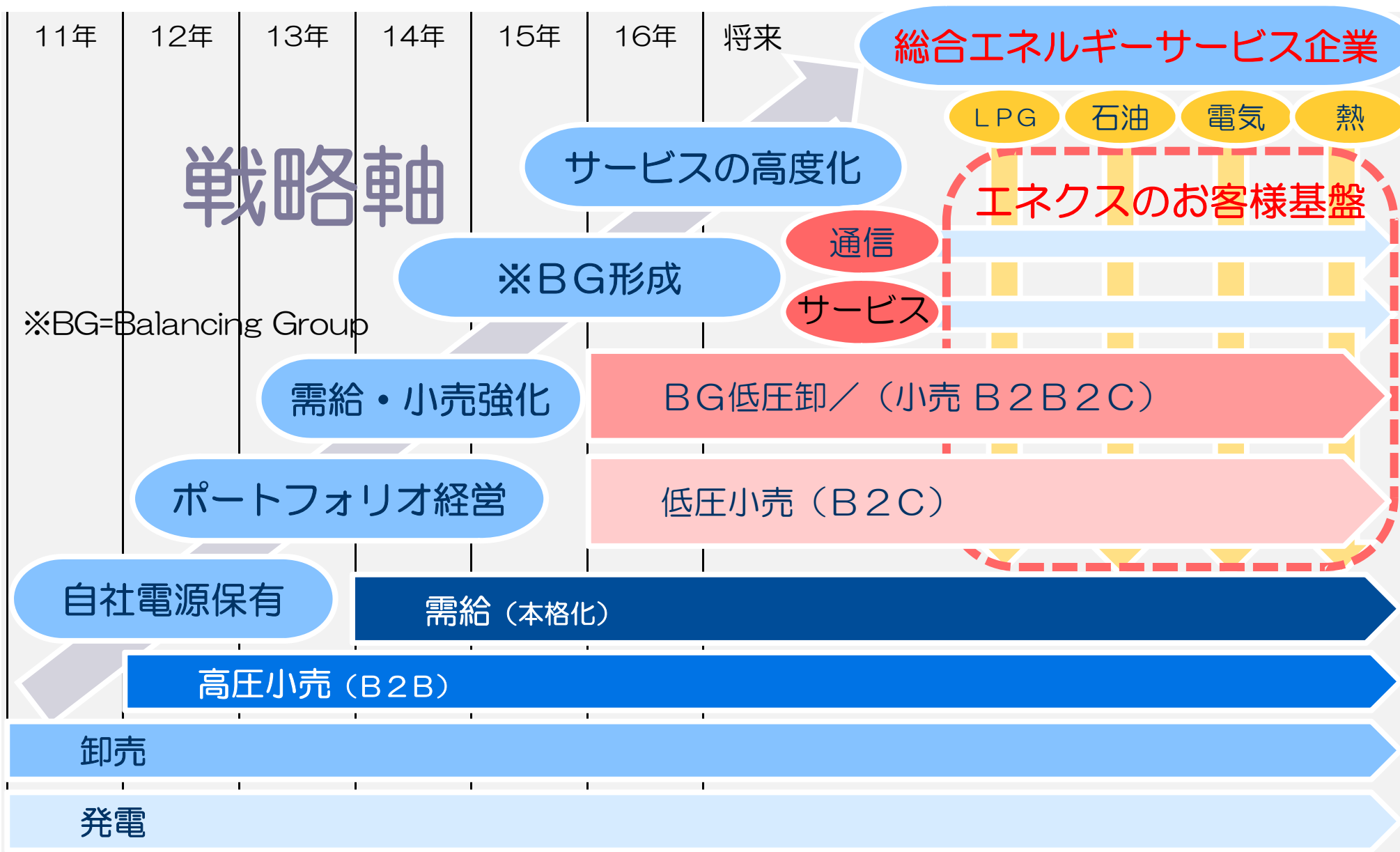


需要家PPS：調達・需給を一にするが、販売は個社独自の戦略で販売する



- 需要家PPS にとってのメリット**
- ①専門的で煩雑な需給業務を外注
 - ②需給コスト投資不要
 - ③同時に電力も調達可能
 - ④規模の経済とインバランスの縮小
 - ⑤調達コストの低減
 - ⑥本業に集中できる

4. 中長期戦略軸（イメージ）



V. 中期経営計画（抜粋）

1. 国内石油製品・LPガスの需要減
2. 電力・都市ガスの小売全面自由化
3. 国内エネルギー業界（電力・ガス・石油）の再編と垣根を越えた競争激化
4. アジアを中心とした新興国の経済成長

Moving2016「動く!」

あした
～明日にタネを蒔け!～

2017年3月期
定量計画

営業利益

200億円

当期純利益

100億円

ROE

9.0%以上

参考) 売上高目標：13,700億円
*日本基準

基本方針

【収益力の増強】

【長期成長戦略のためのタネ蒔き】

【組織力と基礎体力の増強】

Moving2016「動く！」 ～明日にタネを蒔け！～

【収益力の増強】

- 石油事業における「反転攻勢」と体質の強化
- ガス事業の拡大と収益性向上
- 電力・ユーティリティ事業の基盤強化と自由化対応

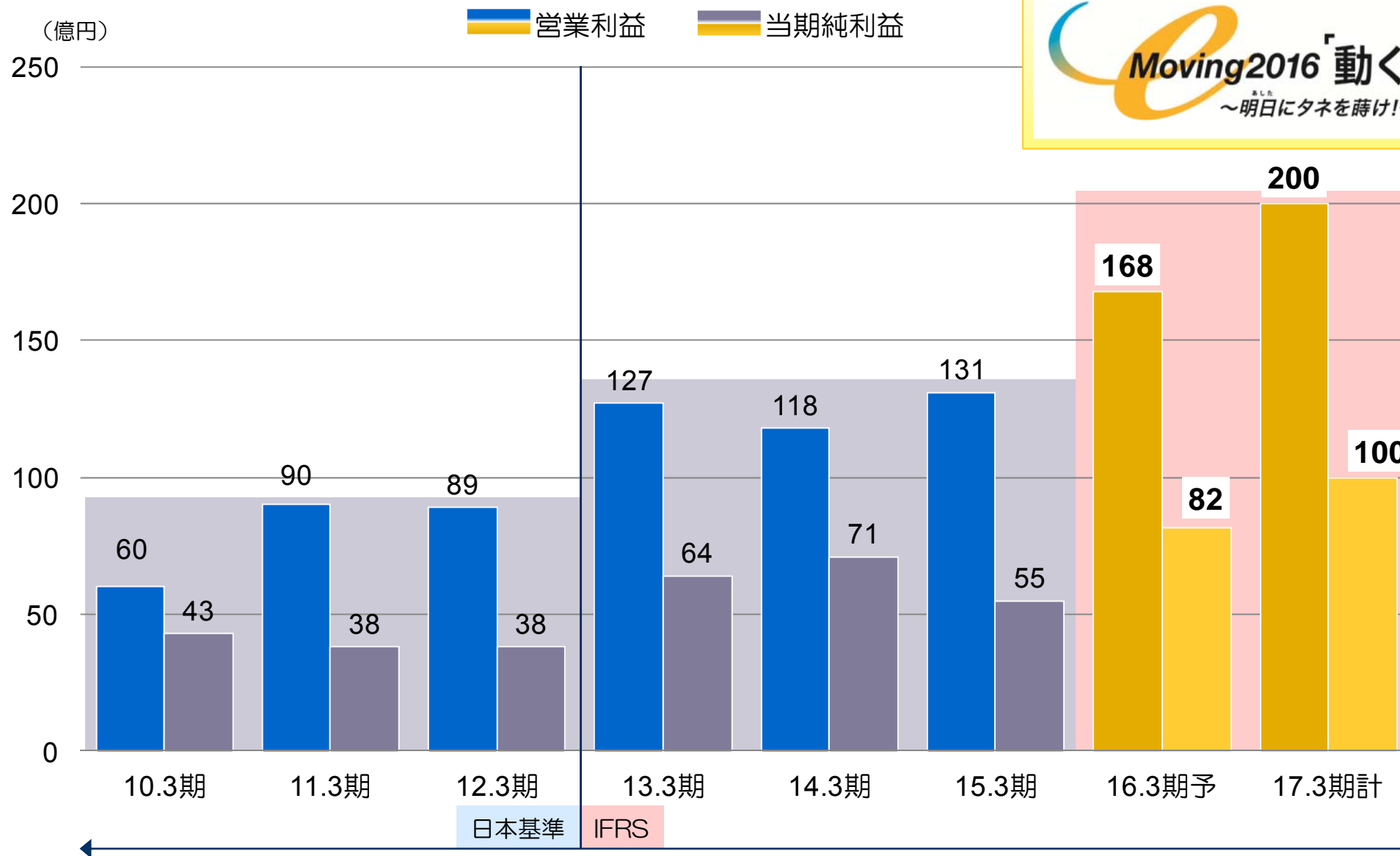
【長期成長戦略のためのタネ蒔き】

- コア周辺ビジネスの立上げとシナジー追求
- 海外事業の早期立上げと拡大
- 他社との戦略的アライアンス構築と早期収益化

【組織力と基礎体力の増強】

- 現場主義・商売人思考の徹底醸成
- 技を持つ人材の育成と多様性の向上
- 健全で合理的且つ大胆な経営の実践

業績推移とMoving2016



主な経営指標



主要経営指標	14.3期実績	15.3期実績	Moving2016	
			16.3期予想	17.3期計画
当期純利益	71億円	55億円	82億円	100億円
ROE	7.8%	5.7%	8.2%	9.4%
売上高利益率	0.5%	0.4%	0.6%	0.7%
総資産回転率	4.7	4.2	4.1	4.0
財務レバレッジ	3.5	3.4	3.3	3.2
自己資本比率	29.3%	29.6%	30.8%	32.3%
ネットDER (倍)	0.26	0.25	0.24	0.22
営業CF	175億円	343億円	210億円	235億円
投資CF	▲ 126億円	▲ 204億円	▲ 160億円	▲ 180億円
フリーCF	49億円	139億円	50億円	55億円

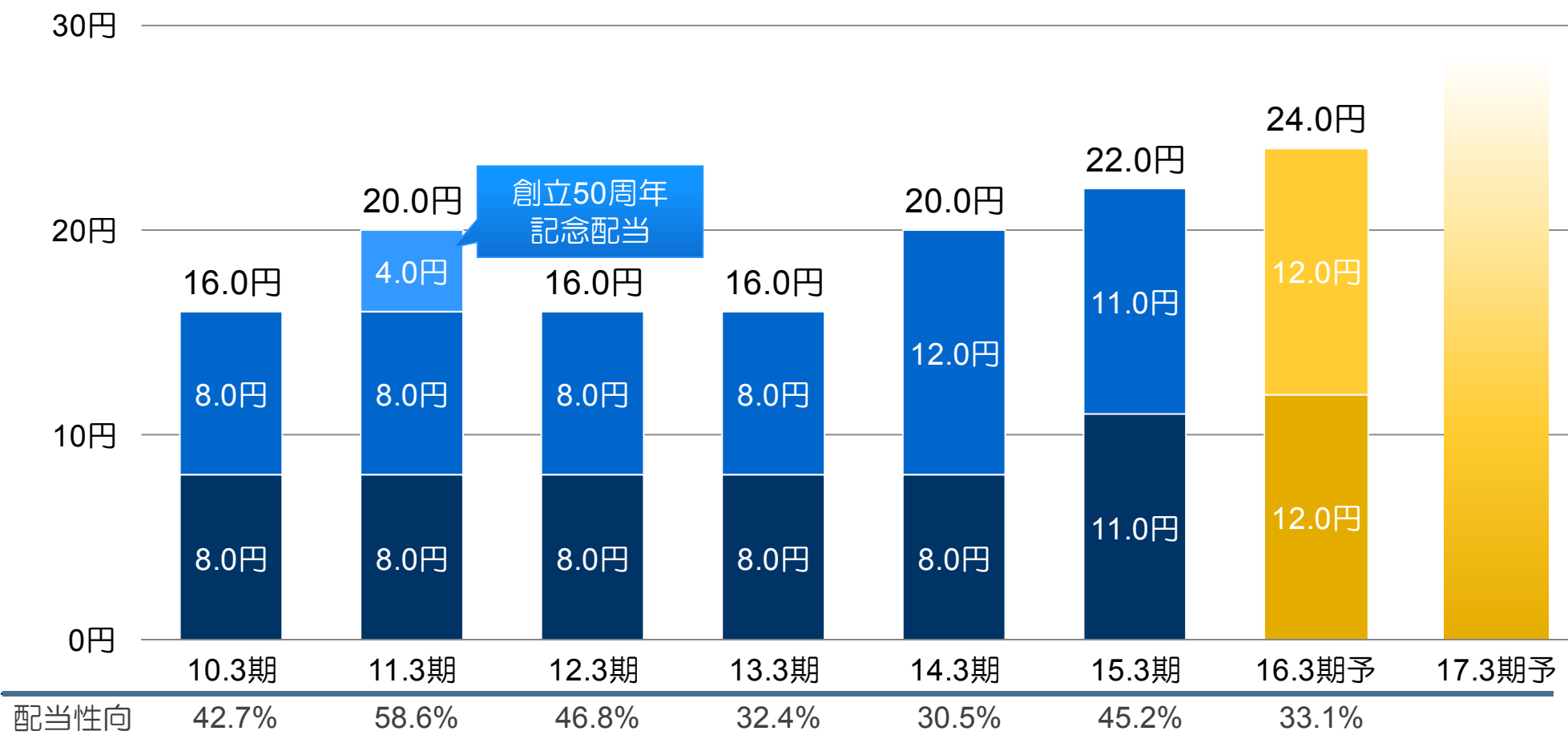
*売上高は日本基準

株主還元

【配当方針】 継続的な安定配当、中間配当と期末配当の年2回の配当

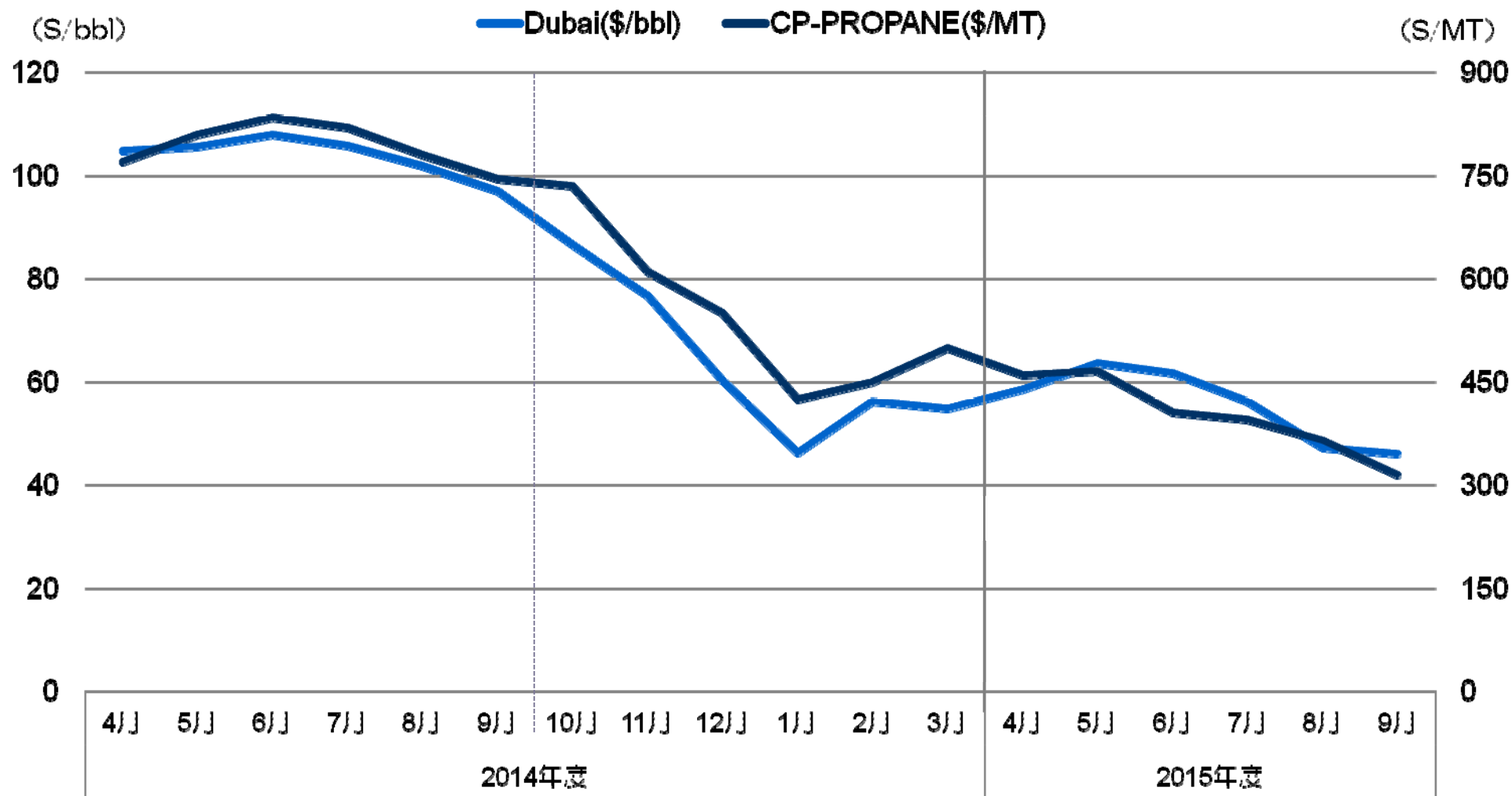
【配当性向】 連結配当性向**30%以上**を指針

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当

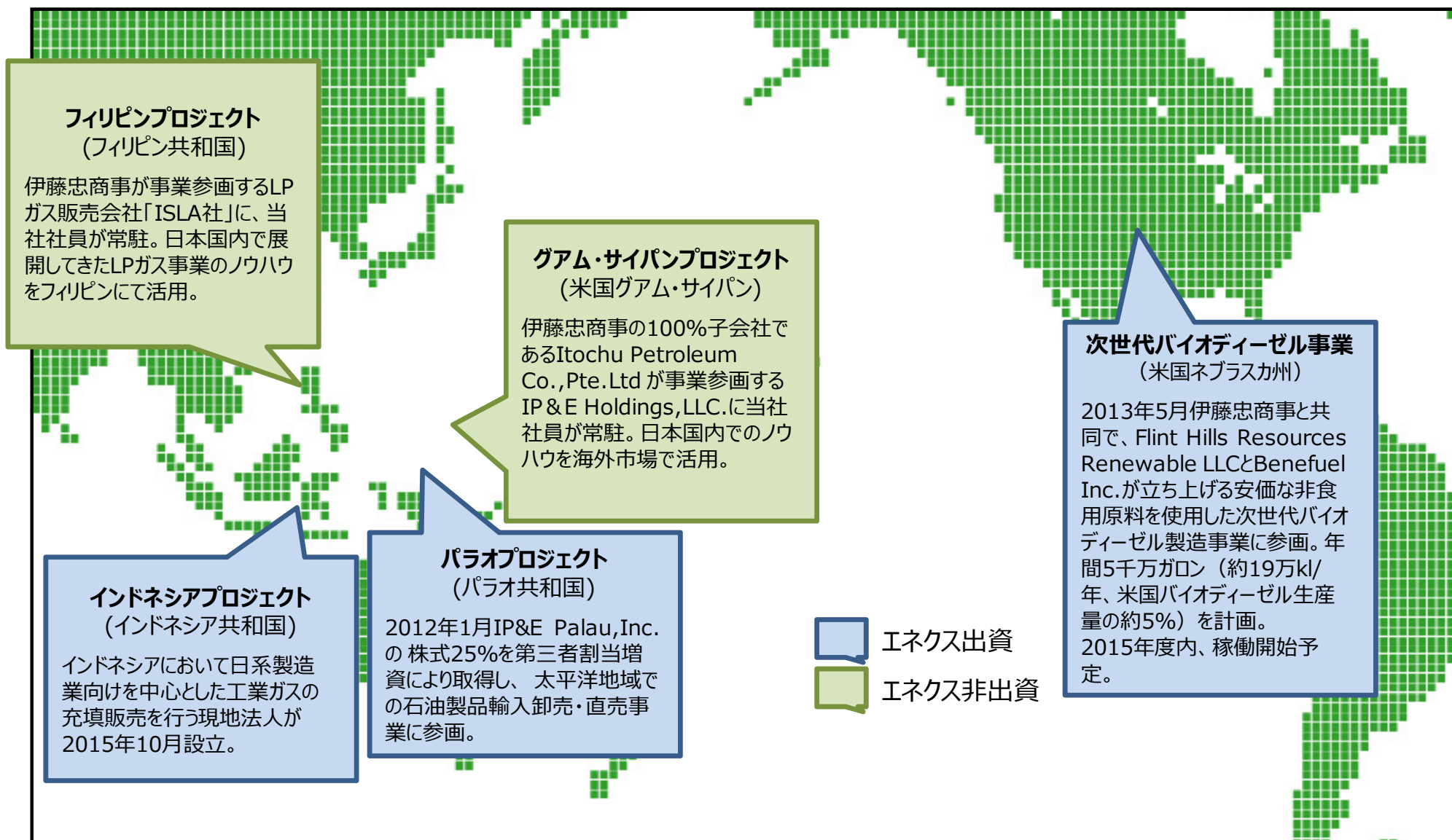


VI. 参考資料

【参考資料】Dubai原油・CP価格推移



【参考資料】当社グループ海外展開



日系企業向け工業ガス充填販売に向けプロジェクト始動

<社名>

PT.ITC ENEX INDONESIA

<会社設立日>

2015年10月9日（登記完了日：2015年10月21日）

<資本金>

6,654,500,000 ルピア（日本円6,500万円相当）

<資本構成>

伊藤忠エネクス株式会社 51%

伊藤忠工業ガス株式会社 49%

<代表取締役社長>

齋藤 真一（2015年11月1日就任）

<本社>

Kawasan Industri KIIC, Jl. Maligi X Lot V5B
Desa Margakaya, Kecamatan Telukjambe Barat,
Kabupaten Karawang Indonesia



（建築予定地：カラワン）

伊藤忠商事がジャカルタ近郊でシナルマスグループと共に開発・運営しているカラワン工業団地にて事業開始予定。

酸素と炭酸の充填設備、事務所、倉庫を建設開始。

エネクスファミリーデー (社員の子女による職場見学会) 2015年8月21日



社長との名刺交換会

ことばの力を楽しむ会(東京都中央区) 絵本朗読会実施予定 2016年1月30日



元NHKアナウンサー山根基世さん他出演予定
(写真は昨年8月仙台にて)



(1) ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

(2) 問い合わせ先

伊藤忠エネクス株式会社 調査広報部 IR広報課
【TEL】 03-6327-8003 【FAX】 03-5562-1302
【E-MAIL】 enex_irpr@itcenex.com